



# 日本テレビ放送網株式会社

2002年度 決算説明会  
2003年5月23日

# 目次



## < 2002年度決算資料 >

- 決算概要
- 重要項目についての説明
  - ・単体放送収入について
    - タイムセールス
    - スポットセールス
  - ・単体番組制作費
  - ・コンテンツ・イベント関連ビジネス状況
  - ・グループ企業の業績
- 来期以降の予想
- 視聴率動向

日本テレビ放送網株式会社の事業運営に関する以下のプレゼンテーションの中には、「今後の見通し情報」として定義される情報が含まれております。それらの内容は、これまでの実績ではなく本質的に、リスクや不確実性を伴う将来に関する予想であり、実際の結果が今後の見通し情報にある予想の結果と異なる場合が生じる可能性があります。

2002年度 決算概要

---

# 主要経営項目の推移 (連結)



## [連結業績]

- ・デフレ不況による広告市場の低迷で、放送収入が減少したが、グループ一体でのコストコントロールにより販管費を抑制。
- ・市場株価低迷により、投資有価証券評価損等の特別損失計上で当期純利益が大幅減。
- ・売上高、経常利益は会社計画を達成。

(単位:百万円未満切捨)	2001年度	2002年度	増減
売上高	358,682	336,299	-6.2%
営業利益	63,573	47,406	-25.4%
経常利益	62,662	46,332	-26.1%
当期純利益	34,648	20,295	-41.4%

# 主要経営項目の推移 (単体)



## [単体業績]

売上高は景気停滞感の強まる中、下期の積極的なセールスにより計画達成。

・ワールドカップ関連により制作費が増加したが、レギュラー番組制作費は減少。

映画関連・コンテンツビジネス開発・衛星放送関連により事業(イベント)費用増。

(単位:百万円未満切捨)	2001年度	2002年度	増減
売上高	311,304	300,542	-3.5%
営業利益	57,506	41,795	-27.3%
経常利益	58,374	42,410	-27.3%
当期純利益	32,278	19,412	-39.9%

# 連結貸借対照表 ハイライト

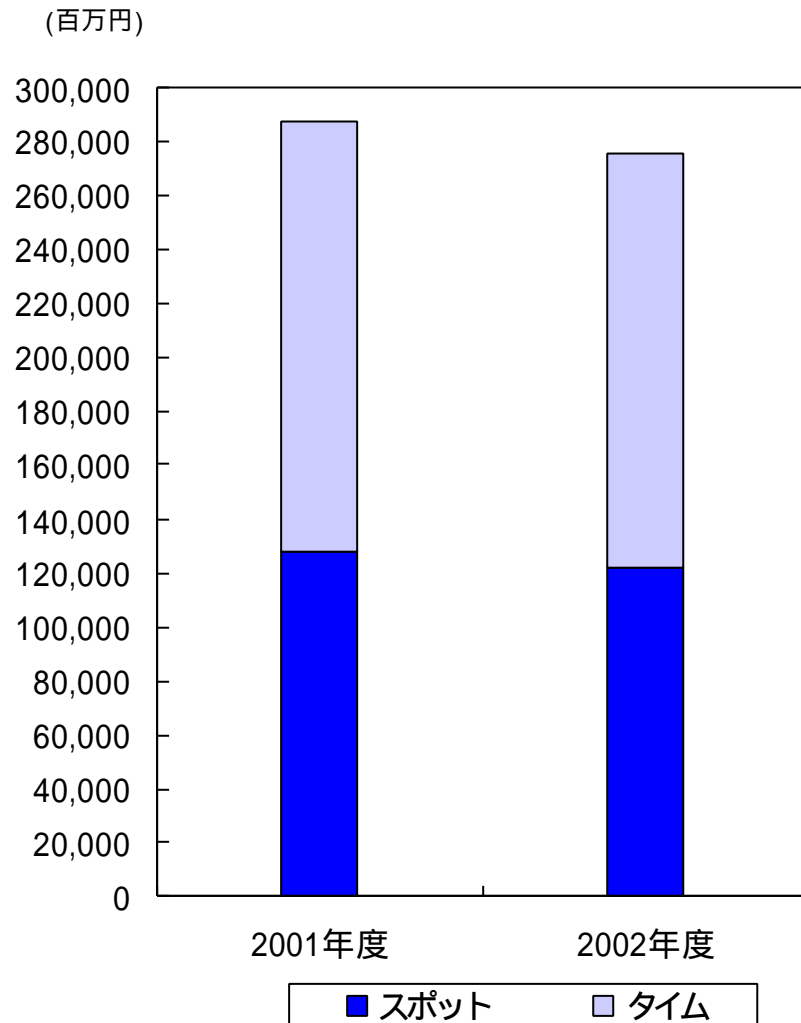


(単位 :百万未満切捨)

資産の部	2002/3/31	2003/3/31	増減	負債/資本の部	2002/3/31	2003/3/31	増減
流動資産	185,088	207,445	22,356	流動負債	84,288	112,716	28,427
固定資産	258,709	269,189	10,479	固定負債	34,465	34,542	76
<b>総資産合計</b>	<b>443,798</b>	<b>476,634</b>	<b>32,836</b>	少数株主持分	1,725	2,259	534
				資本	323,319	327,116	3,796
				<b>負債,少数株 主持分及び 資本合計</b>	<b>443,798</b>	<b>476,634</b>	<b>32,836</b>

## 重要項目についての説明

# 放送収入について (単体)



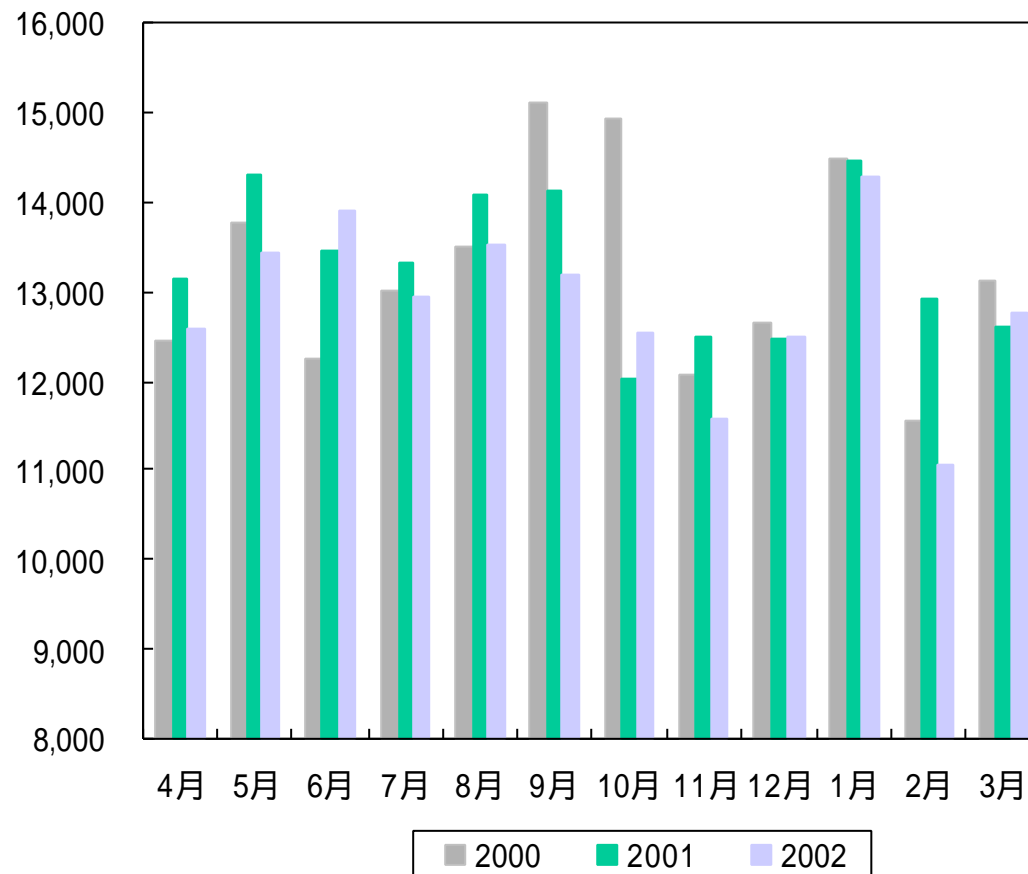
(単位:百万円 未満切捨)	2001年度	2002年度	比較	伸率
<b>合計</b>	287,383	276,302	-11,080	-3.9%
<b>タイム</b>	159,350	154,269	-5,081	-3.2%
<b>スポット</b>	128,033	122,033	-5,999	-4.7%



# タイムセールス売上高推移



(百万円)



2002年度 : 154,269百万円

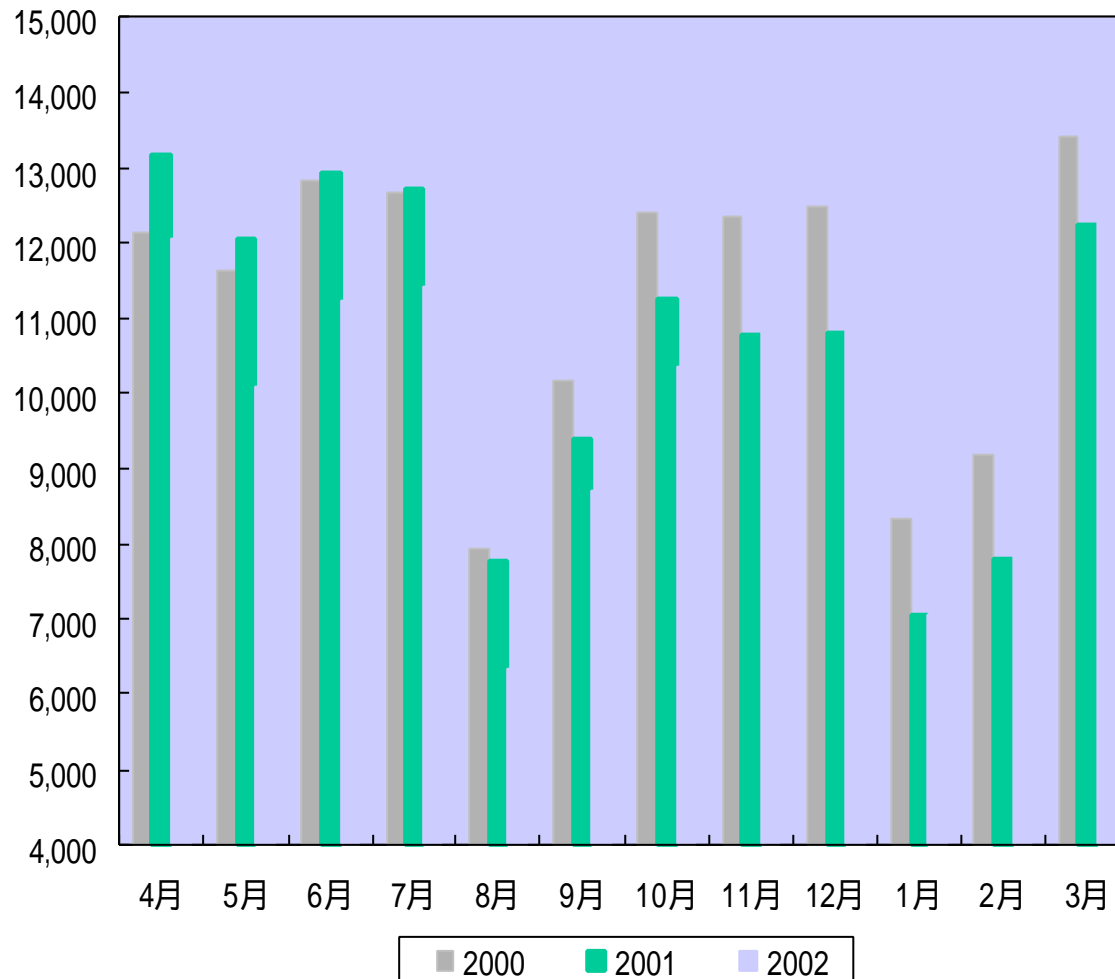
2001年度 : 159,350百万円

比較 : 5,081百万円  
(-3.2%)

# スポットセールス売上高推移



(百万円)

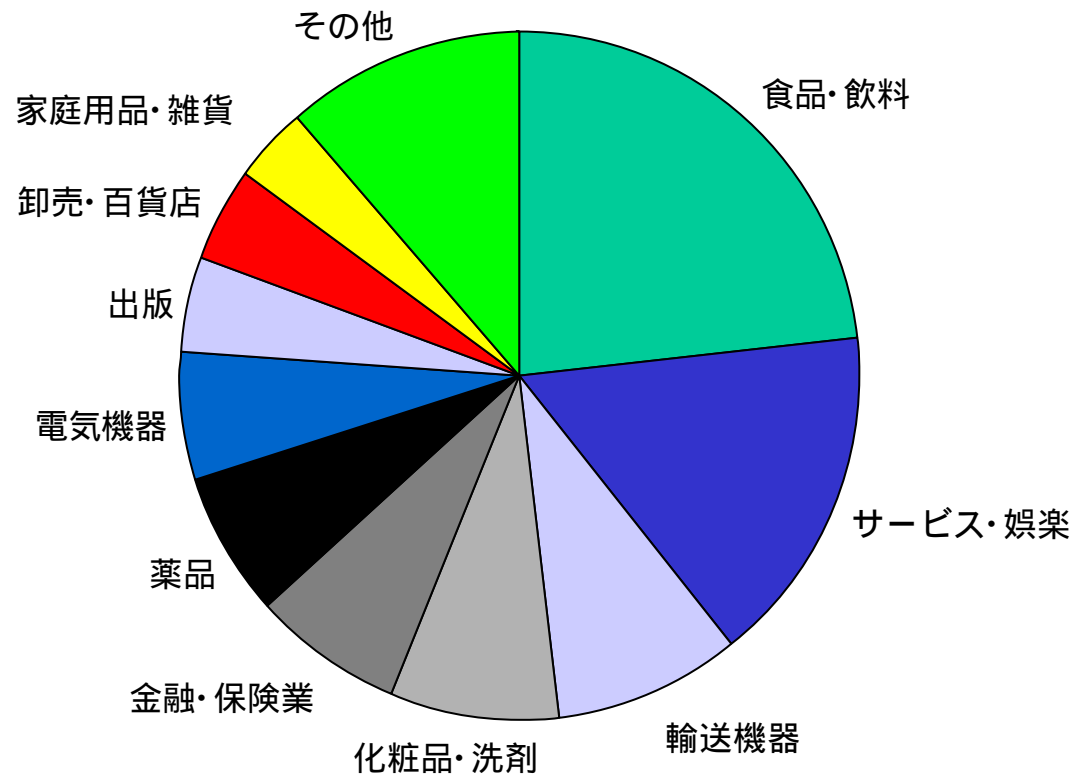


2002年度 : 122,033百万円  
2001年度 : 128,033百万円  
比較 : 5,999百万円  
(-4.7%)

# スポット出稿業種別ランキング & 主要産業グループの対前年比較



2002年度スポットセールス業種別シェア

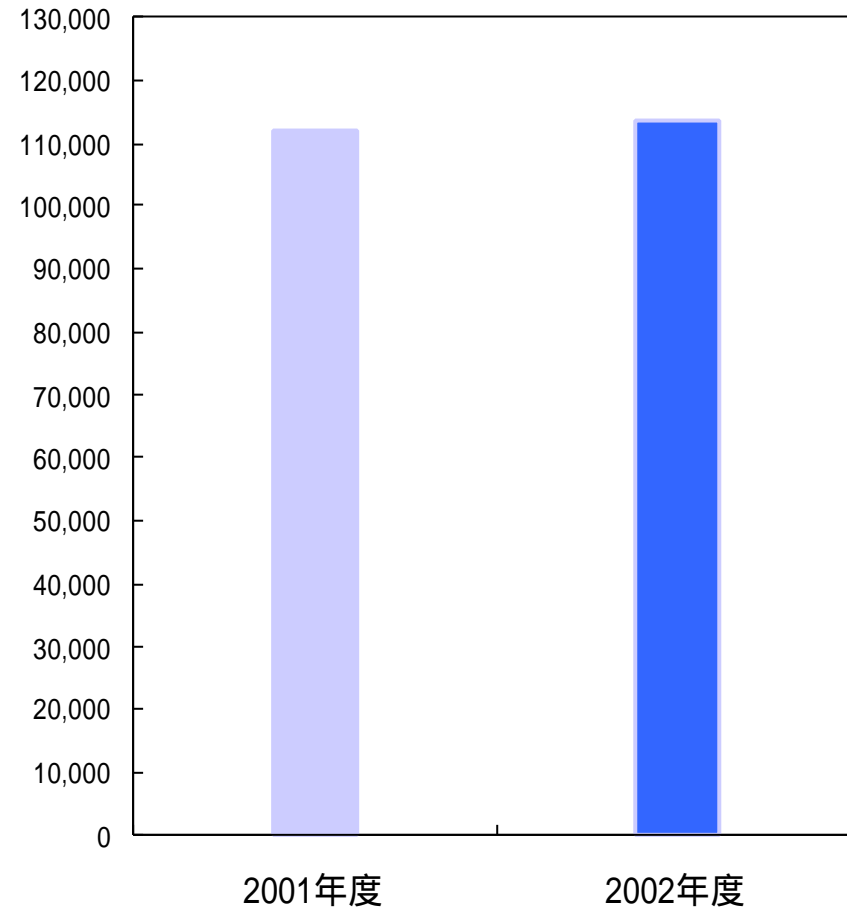


	シェア (%)	前年比 (%)
食品・飲料	23.27	89.5
サービス・娯楽	16.03	100.6
輸送機器	8.75	104.3
化粧品・洗剤	8.09	91.2
金融・保険業	7.31	83.7
薬品	6.57	87.3
電気機器	6.17	115.8

# 番組制作費について (単体)



(百万円)



2002年度	: 113,433百万円
2001年度	: 111,993百万円
比較	: 1,440百万円 ( 1.3% )

\* 上記の内「回線使用料」については、短信上において放送費及びその他の事業費の諸経費として計上している為、短信上の番組制作費と差異が生じています。



## • イベント事業

- 「マルクシャガール 東京展」入場者35万人超で売上5.2億円、利益2.3億円。新潟展、広島展も成功
- 国内最大級コンサート「ポールマッカートニー」成功
- ライブハウス運営や、T・F1・M 1層向けイベントも積極開催 (X-TRAIL JAMなど)

## • 映画事業

- 「猫の恩返し」:興行収入64億円。今後DVD等展開予定(2003年6月)
- 「千と千尋の神隠し」:DVD売上好調。アカデミー賞受賞で、海外ロードショー増
- 「名探偵コナン」「アンパンマン」「伏夜叉」など人気アニメのシリーズ化大人気

## • 著作権・キャラクター関連事業

- 「アンパンマン」携帯有料サイト会員約13万人等インターネット関連ビジネス好調
- 「伊東家の食卓」等ライセンスビジネス収入が、グループ全体で前年度比47%増

# ライツビジネスの積極展開



## グループ一体となった収益構造

～2002年度連結 ライツ関連収入 約100億 (前年度比 47%増)

- 商品化権収入の拡大 前年度比 16%増
  - 「アンパンマン」関連商品、「リパン三世」パチンコ、ゲーム展開成功、「伊東家の食卓」「伊東家の裏ワザ用品」大ヒット
- VP化権収入の拡大 前年度比 84%増
  - アニメ出資事業の取組の成功。「天地無用」「ハーロック」など
  - ドラマ「ごくせん」大ヒット
- ネット配信収入の拡大 前年度比 55%増
  - MY 日テレ 約 35万人 (加入者数)
  - アンパンマン サイト 約13万人 (加入者数)

グループ各社のライツ関連収入内容 (日本テレビ本体の直接収入以外)

日本テレビ音楽 (商品化権収入)・VAP (ビデオグラム収入)・日本テレビビデオ (フッテージ)・  
日本テレビサービス (グッズ販売)・フォアキャストコミュニケーションズ (配信収入) 他

## [決算の特徴]

### • 減収増益 (単純合算)

- 子会社16社 (経常利益) 64億3,850万円 (+ 10.4%)
- 連結子会社12社 (経常利益) 63億2,217万円 (+ 9.7%)

### • 主な要因

- NTV映像センター、日本テレビビデオが、本社の制作技術・報道技術業務の移管で過去最高収入・最高益。
- 外部売上率の高い、日本テレビ音楽、フォアキャスト・コミュニケーションズもそれぞれ著作権ビジネスや、インターネット関連事業が好調で過去最高収入・最高益。
- 番組内容の変更等により、日本テレビエンタープライズ、日本テレビアートは減収。
- バップが前年度比11,350百万円減収ながら、増益。

# 主なグループ企業の業績



- NTV映像センター [増収増益]
  - BS・CS関連業務受注、技術制作の業務移管等で増収。
- 日本テレビビデオ [増収増益]
  - 報道技術業務移管で増収。設備投資抑制により減価償却費減少。
- 日本テレビアート [減収減益]
  - ドラマ担当枠 (多摩スタジオ閉鎖による) 減少、番組変更による減少が影響。
- 日本テレビエンタープライズ [減収減益]
  - レギュラー番組減少、'ポシュレ' 枠移動が影響。
- 日本テレビ音楽 [増収増益]
  - 商品化権・音楽著作権収入が過去最高に。アンパンマンも絶好調。
- バップ [減収増益]
  - ミスチル作品減による影響。自社商品売上増と物流費圧縮で増益。
- フォアキャスト・コミュニケーションズ [増収増益]
  - モバイル有料会員的大幅増、HP制作受注増で増収。外部売上高割合も増。
- BS日本 [減収赤字]
  - 不況により収入は伸び悩み。費用抑制で累損極小化を目指す。
- CS日本 [増収赤字]
  - 放送開始後の加入者伸び悩み。収入基盤の確立を目指す。



# 業績予想 (2003年度)



## < 売上高 営業利益 経常利益 当期純利益 >

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	329,000	14,800	14,500	6,500
(内 上期分)	162,000	12,250	12,000	5,500
単体	287,000	10,200	11,000	3,000
(内 上期分)	144,000	10,000	10,500	5,000

- **9年連続年度・年間四冠王獲得**

- バラエティー、報道系番組絶好調
- 「午と千尋の神隠し」46.9%をはじめ、金曜ロードショーにおける高視聴率
- レギュラー情報番組も好調

- **4月からの視聴率動向 ～個人視聴率も改善～**

- 「夕留スタイル！」(月～木 15:50 - 17:00)：F1視聴率が世帯を上回る
- ジャイアンツ戦の視聴者層に変化：M1層の視聴率が上昇中
- 「伊東家の食卓」踊る！さんま御殿!!」「行列の出来る法律相談所」「笑点」などレギュラー番組の視聴率は安定して高視聴率を獲得
- 「別バラ」枠番組も好調